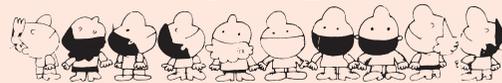


歌壇

選者・椎名恒治(地中海編集長)
投稿先・森田貞子(草見町水子48
83-1-268-5370)
投稿者は電話番号を明記
覆る前に怖いのは嫌とあれこれの絵本を選び運びくる孫
鈴木 繁子
あちこちと身体の異常は当たり前古した七十五年
山田 五郎
黒豆を選び分けてある鼻眼鏡この所作祖母 母 われと似る
祖父江桂子
日だまりの窪みに残る雨水に小鳥は群れて水浴びてをり
田中 紀彦

痴呆の姑を友は捜して冬の町見知らぬ家の炬燵に居たりと
もう我は全て忘れたい悲しみを共に舞りたる去年の今日なり
夕暮れに森の向こうの庁舎よりチャム流るる、十七の子
山本 幸三
老い二人確かめ合ひて寝る前の薬一服一口が終はる
正月の真青な空にあげる風夢中な夫に孫は不満顔
背負ひたる孫の温もり伝はりて子育ての頃懐かしきかな
泉 郁子

みんなのひろば



北永井在住
鈴木颯音ちゃん
平成16年11月26日生
(父・康範さん)
(母・美貴さん)



ママのお靴大好き！サンダル、ブーツ、スリッパ何でも履いちゃう。
転んでもへっちゃらだよ!!

ドライ



竹間沢在住
中島風花ちゃん
平成18年2月6日生
(父・一樹さん)
(母・真紀さん)

はじめまして風花です。おいしいものを食べるのが大好き！パパとママがびっくりするくらいいっぱい食べるの。いっぱい食べていっぱい遊んでどんどん大きくなるんだ!!

原稿募集中：アイドル こんにちは！サークル等
あて先〒354-8555三芳町大字藤久保1100番地1三芳町役場

俳苑

投稿は官製はがきで結構です。
三芳町大字竹間沢五八四番地三
窪田 博吉

春一番母の聖書に薄ほこり
聴講の静けさに鳴く雲雀かな
春一番乙女の栗毛おどらせて
枝一杯ひろげて辛夷天支う
お彼岸や小さき母を先頭に
啼きながら雲雀は空へまっしぐら
春雨に濡れて鉢物生きかえる

薄水のおえなく消えし草
外出着いま一枚と浅き春
春一番帽子まで削ぎ前
春雨や盃を重ねし旅の夜
詩ころ兆す堤や犬ふくり
春の山彩それぞれの手弁当
シクラメン朱にわが胸を燃しけり
曇天に燃ゆるが如き春椿
千両より万両飾り初盆前
揚雲雀己の声で空へとぶ
初孫の生まれまたる弥生かな
強き風受けて目覚むる春の山
古里は辺り一面犬ぶくり

小泉 かね
坂田みゆ子
武田キヨ子
平井 昌雄
池上ひでお
佃 浩子
君島 直子
山本 幸三
平井 静壺
川口 南子
鈴木 ナカ
田中 正三
下原 キイ

お気軽に原稿をお寄せください。
秘書室秘書広報係 ☎258-0019(内線311)

FAX 274-1054

こんにちは！サークル 三芳町ハイキングクラブ



三芳町ハイキングクラブは「安全で楽しいハイキング」をモットーに、ウオーキングから登山まで幅広い活動を通じて、今年で創立22年を迎えました。
今年度は、御岳山や日光鳴虫山、荒船山など近郊の山々から、北アルプスの鹿島槍ヶ岳や会津駒ヶ岳、屋久島の宮之浦岳、韓国の最高峰ハラン山などを計画しています。
ぜひ皆さん一緒に歩いてみませんか。

入会金 2千円
年会費 2千500円
連絡先 中里 ☎258-12890

春・夏・秋・冬



中国原産のマメ科落葉低木。高木。別名、すおうばな、すおうぎ、枝いつばいにも弁の紫紅色の小花が小枝にまばわりつくようにびっしり咲く。花の色が上代より赤色染料に用いられたマメ科のスオウの染汁に似ているため付けられた。枝全体が1つの花でもあかのかの如く群れて咲く姿がとても美しい。

花蘇芳(はなすわう)

富士見市 第34回富士見市子どもフェスティバル
テーマ みんなの主役だ 遊んでじゃあつ
日時 4月22日(日) 午前10時～午後3時(雨天決行)
場所 富士見市役所周辺および文化の杜公園(雨天時は市民総合体育館)
内容 全体企画：ふれあい、フワフワほか、ふれあい・体験・チャレンジャー、ダンス、フェリスペインター、ダンボール迷路、ブラレール、おもしろキャラクターズスポーツ、オリエンテーション、リングなど。
緑日コナー：子どもフリママーケット、金魚・ボールジョース、焼きそば、フラ



このコナーは、富士見市・ふじみ野市で開催されるイベント等の情報を掲載しています。

今年から4月28日が、昭和の日になります。昭和の時代、市内では、昭和2年の無線播磨岡受信所開設、戦時中の陸軍造兵廠(火工廠)操業、昭和30年代の霞ヶ丘、上野台団地建設と入居などをはじめ、多くの出来事がありました。
「昭和の日」制定にあわせて、激動の「昭和」を記録した数多くの貴重な写真を紹介する展示会を開催します。
会期 4月28日(土)5月20日(日)(毎週月曜日は休館)
場所 上福岡歴史民俗資料館 2階展示ホール・研修室
開館時間 午前9時～午後4時30分
入館料 無料
問い合わせ 上福岡歴史民俗資料館 ☎261-6065

健康百科 こきげんいかがですか？

春の日差しが、心地よい頃になりました。町の様々な場所、色とりどりの花々を楽しむことができる季節。また、お母さんやお父さんに抱っこのお赤ちゃんも、外に出るのがより楽しい時期になりました。さて、みなさんは、保健センターの新生児訪問は利用しましたか？
はじめてのお子さんだけでなく、2人目以降のお子さんが生まれた時でも利用できるのをご存知でしょうか？
お子さんが生まれて、生後3か月頃までは、子どもの成長におどろきや感動がたかくある中で、「母乳が足りているのかな?」「こんな時はどうすればいいのかな?」などなど、心配や不安になりやすい時期です。そんな時に、新生児訪問を行なっています。では、誰が来るのだろう?、と思うお母さん、お父さんもお母さん、お父さんもお父さんの相談したい内容に応じて、保健師または、助産師がご自宅へ訪問しています。
お子さんとの生活の中で、ちょっとした相談や、お母さんとお子さんの健康に関する相談をうけたり、お子さんの体重を測ったりしながら、私達も、お母さん・お父さんと一緒に、お子さんの成長を見守り、感動や楽しさなどを共有していただくと考えています。また、お子さんの予防接種のことや、子育てをしていく上で大切な情報などについてもお伝えしています。
新生児訪問を利用するには、お父さんやお母さんが母子健康手帳に入っている、「出生連絡票」(18ガキ)の枠内の必要事項と訪問希望を記入いただいたとき、投函いただければ、お電話いたします。里帰りする方は、里帰り先でも新生児訪問を利用することができます。もしくは、三芳町に戻られてから利用することもできます。里帰り先で新生児訪問をうける際は、里帰り先の保健センター(母子保健担当課)に問い合わせください。
保健センターでは、これからお母さん・お父さんになる方、そして子育て中のお母さん・お父さんにとって、楽しく子育てできるような様々な事業を通して応援していきたいと考えています。
今年度も、保健センターだけでなく地域包括支援センター、精神障害者小規模地域生活支援センターといったみなさんの健康に関する機関から様々な情報を発信したいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。
問い合わせ 保健センター ☎258-11236